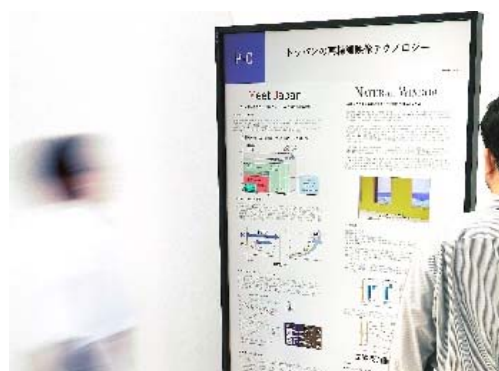


凸版印刷、学会向け電子ポスター開発
第117回日本皮膚科学会総会のポスターセッションに4K デジタルポスター・システムを提供、
高度化する通信と映像技術を用いて医療分野での活用を図る

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子真吾、以下 凸版印刷)は、高品質な画像データやデジタル高精細映像の技術を活用し 4K デジタルポスター・システム(以下、本システム)を開発。このたび、2018年5月31日から6月3日まで広島市で行われる第117回日本皮膚科学会総会(会頭:広島大学大学院医歯薬保健学研究所 皮膚科学教授 秀 道広)のポスターセッションへ本システムを提供します。



従来の紙ポスターとほぼ同じ大きさの 4K85 型

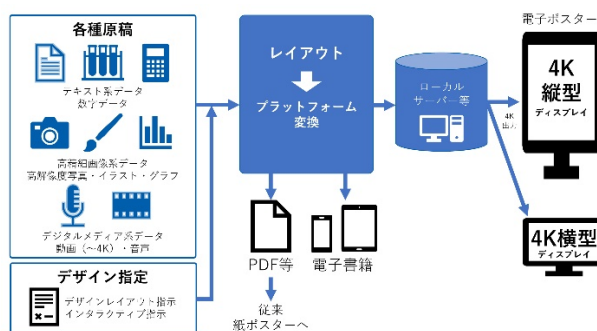


動画や映像・音声を組み込み多彩な表現が可能



タッチパネルで拡大表示にも対応

表示内容はイメージです。



電子ポスターシステム概念図

一般的に学会のポスターセッションでは、研究者たちが研究成果を紙に印刷しポスターとして割り当てられた会場に掲出、研究方法や成果を発表します。今回のポスターセッションでは、通常の紙のポスターと合わせて、4K デジタルポスター・システムを活用。具体的には、85 型の 4K タッチパネルディスプレイをデジタルポスターとして2台設置し、データ配信サーバから電子書籍形式でコンテンツを掲出しました。これにより、デジタルポスターでは、文字や画像が荒れることなく、インタラクティブに約 5 倍まで拡大ができるほか、動画の掲出にも対応。先端の通信と映像技術を活用し、研究発表の高度化を支援しました。

■特長

- ・本システムは、学術成果の発表向けに電子書籍フォーマットを採用。また 85 型 4K デジタルサイネージにより、通常のデジタルサイネージより大きく(約 5 倍)まで拡大しても、画像や文字が荒れません。

- ・本システムではタッチパネルを採用、来場者が興味のある部分を自身で操作でき、よりインタラクティブなポスターセッションが行えます。
- ・従来の紙のポスターでは対応できなかった、動画・映像などの埋め込み表示が可能になります。

■今後の展開

凸版印刷は、高品質な画像データやデジタル高精細映像の技術を活用し、ポスターセッション会場の来場者に遠隔地の研究者が動画で質問を受けながら説明するなど、今後も学術・医療分野向けによりインタラクティブで利便性の高いデジタルポスターの開発を進めます。

■第117回日本皮膚科学会総会 ポスターセッション

- ・日時:2018年5月31日(木)から6月3日(日)
- ・会場:広島県立総合体育館 B1F (広島市)
- ・設置機器: 85型4Kタッチパネルディスプレイ 2台、コンテンツ配信・サーバ

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上